

令和4年12月27日

大学・地域共創プラットフォーム香川
就職・産業振興部会委員 各位

大学・地域共創プラットフォーム香川
就職・産業振興部会長 山神 眞一

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和4年度第5回就職・産業振興部会（電子メール審議）の結果について

平素より、本プラットフォーム就職・産業振興部会の活動に関し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和4年度第5回就職・産業振興部会を電子メールによる審議としておりましたが、去る12月22日までに意見書を回収し、議題についての認否等を確認しましたので、その結果について下記のとおりご報告いたします。

今後とも、引き続きお力添えくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

記

1. 議題の認否確認

第1議題： 賛成18／反対0／棄権0

よって、原案のとおり、承認、可決されました。

（ただし、意見書の提出が無い場合は、ご承認いただいたものとして取り扱う旨、事前に連絡済み）

2. その他ご意見

- ・ 事業の実施にあたっては、これまでの効果検証や課題の要因分析を十分に行い、課題解決の目的を明確化、共有したうえで、取組みを行っていく必要がある。（香川県地域活力推進課）
- ・ ワーキンググループの立ち上げに関しては、できるだけ小規模なもの（5人以内程度）とし、自由に意見が出せる場として機能できるようにしていただきたい。（香川県労働政策課）
- ・ 検討課題一覧中の9「卒業生向け転職支援」について、企業側のニーズ調査（転職の際に必要とされる資格・スキル）を取組事業一覧の1で行うリカレント教育のニーズ調査に含めていただきたい。（四国学院大学）
- ・ 事業の実施に際しては、プラットフォーム参画機関等に負担が掛からない運営をお願いしたい。（香川県商工会連合会）

- ・ 運営委員会や総会で承認された令和5年度事業計画のうち、新規事業を具体化するために要する予算については、部会幹事や事務局は、構成員から徴収する年会費から各部会に配分された予算を充てるのか、事業実施を希望する構成員が、別途、予算取りすることを想定しているのか、お示しいただきたい。（高松市）

《部会長見解》

就職・産業振興部会の令和5年度事業（継続・新規）については、部会に配分された年度予算を充てることになる。なお、部会の年度予算は、運営委員会を経て総会にて決定される。

- ・ 事業計画の具体化に向けて、ワーキンググループが設置されると理解しているが、11月29日協議の議事要旨の中の部会長見解として、「事業実施の際に主担当者を中心として具体化を進めていくことになる」とある中で、部会幹事や事務局は、ワーキンググループに対して、どのように関わっていくことを想定しているのか、お示しいただきたい。（高松市）

《部会長見解》

ワーキンググループ（以下WGという。）が設置された場合、就職・産業振興部会長はWGの自主性等を尊重するとともに、WG主担当と意見交換・連携することになる。また、就職・産業振興部会幹事（部会長を含む担当者）はオブザーバーとして参加する。